

えびの高原（硫黄山）周辺に噴火警報が発表された場合

噴火警戒レベル2～3における立入規制範囲

噴火警戒レベル2 (火口周辺規制)

小噴火が発生し、火口から概ね1km以内に大きな噴石が飛散することが予想されます。
このため、硫黄山から1km以内への立ち入りが規制されます。

※県道1号線の一部通行止めや硫黄山から1km以内の登山道への立入規制。

<過去の事例>
2018年4月：水蒸気噴火が発生、泥水が噴出
1768年の水蒸気噴火：大きな噴石の飛散距離は不明

噴火警戒レベル3 (入山規制)

噴火が発生し、火口から概ね2km以内に大きな噴石の飛散や火砕流(低温)が到達、または発生が予想されます。

火山活動の状況によっては、火口から概ね4km以内に大きな噴石の飛散や火砕流、溶岩流が到達、または発生が予想されます。

<過去の事例>
16～17世紀：大きな噴石が硫黄山から約2km飛散
9,000年前：不動池溶岩が約4km流下

注) ここでいう「大きな噴石」とは、主として風の影響を受けずに弾道を描いて飛散する直径約50cm以上の大きさのものを指します。

硫黄山周辺の火山ガスにご注意下さい。

硫黄山周辺では人体に有毒な火山ガスが発生しており、火山ガスの状況に応じて、登山道や県道1号・30号、えびの高原一帯で立ち入りを規制することがあります。

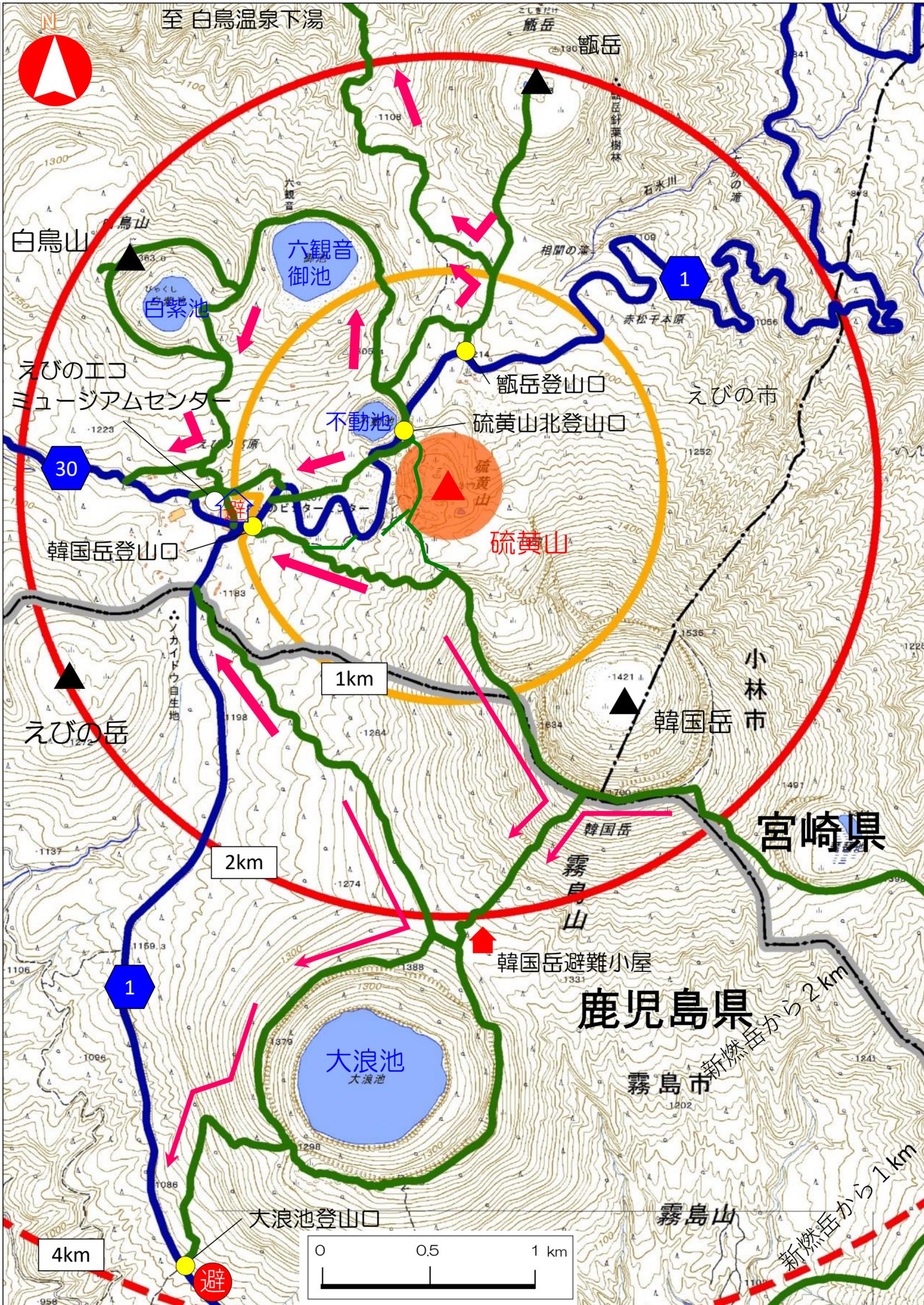
火山ガスの濃度が致死量に達する場合もあり、非常に危険ですので、十分ご注意ください。

◆火山ガスから身を守るために

- ・無風状態の低地には注意する。
- ・濡れタオル(おしぼり)を持参する。

火山ガスや火山灰に巻き込まれたとき濡れタオルを口に当てると吸引量が減少します。

- ・危険を察知したときには発生源の風上に逃げる。
- ・ぜんそくや心臓病等の持病のある高感受性の方は、低濃度でも発作を起こす可能性がありますので特に注意してください。



- | | | | |
|----|----------------------|----------|-------------------------------|
| 凡例 | ▲：硫黄山 | —：登山道 | ○：噴火警戒レベル2の立入規制範囲(概ね1km) |
| | ●：火口 | —：県境 | ○：噴火警戒レベル3の立入規制範囲(概ね2km) |
| | —：県道・主要地方道 | ---：市町村界 | ○：噴火警戒レベル3の立入規制範囲(概ね4km) |
| | ⚡：屋根補強型の休憩施設(一時避難施設) | | ➡：噴火しそうな時や噴火が始まった時に避難すべき方向の一例 |

注1：「火口」とは、硫黄山山頂から半径250mの範囲を指します。

注2：各噴火警戒レベルにおける登山道規制箇所および道路規制箇所は現地での表示に従ってください。

えびの高原（硫黄山）周辺に噴火警報が発表された場合

噴火警戒レベル4～5における立入規制範囲

噴火警戒レベル4 (避難準備)

居住地に重大な被害を及ぼす噴火が発生すると予想されます。
噴火活動の拡大や顕著な地殻変動等により、**火砕流、溶岩流が右図の居住地に到達する**ような噴火が予想されます。

そのため、次の地区では高齢者等**要配慮者の避難**が必要になります。

小林市：環野・千歳・大出水地区
えびの市：中の原・尾八重野
霧島・千草木地区

※住民の避難準備が必要になります。
※火口から概ね4kmの範囲まで、大きな噴石が飛散する可能性があります。また、「こぶし」より小さな噴石は、火口から4kmを超えて、より遠くに到達する可能性がありますので、注意して下さい。

噴火警戒レベル5 (避難)

居住地に重大な被害を及ぼす噴火が切迫、あるいは発生している状態にあります。

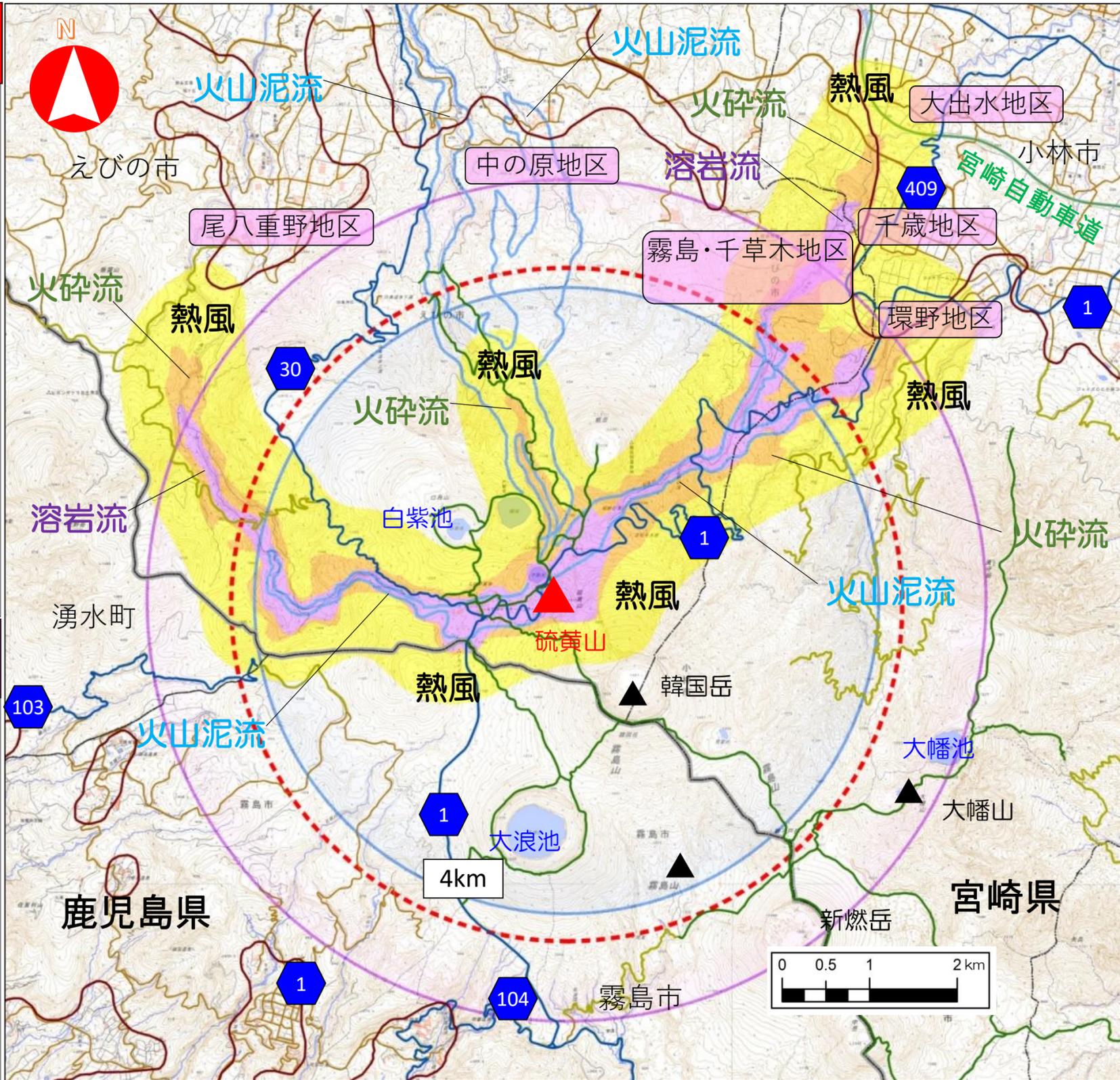
噴火が発生し、**火砕流、溶岩流が右図の居住地に到達、またはそのような噴火が切迫**しています。

そのため、次の地区では住民の**避難が必要**になります。

小林市：環野・千歳・大出水地区
えびの市：中の原・尾八重野
霧島・千草木地区

<過去の事例>
なし

※火口から概ね4kmの範囲まで、大きな噴石が飛散する可能性があります。また、「こぶし」より小さな噴石は、火口から4kmを超えて、より遠くに到達する可能性がありますので、注意して下さい。



- 凡例**
- ▲：硫黄山
 - ：県道・主要地方道
 - ：噴火警戒レベル3の立入規制範囲(概ね4km)
 - ：県境
 - ：登山道
 - ：火山灰が50cm以上積もる恐れのある範囲
 - ：市町村界
 - ：林道
 - ：噴石が飛んでくる恐れのある範囲
 - ：広域農道・市町道
 - ※「こぶし」より小さい噴石は、より遠くへ飛んでいきます。

・この予測図は霧島火山防災検討委員会（平成19年度）による火山災害予測図検討分科会の成果に基づき、規模の大きな噴火（200年に1回程度の噴火）による影響範囲を示しています。
・表示している溶岩流、火砕流及び火砕サージ、火山泥流の影響範囲は、事前にどの方向に流下するか特定できないため、地形条件により可能性の高い2方向に流下した計算結果を重ねて描いたものです。なお、各現象の影響範囲は、過去の噴火実績〔溶岩流：2,300万m³（約7,600～7,300年前の不動池溶岩）、火砕流：1,300万m³（実績がないため類似事例である1,716～1,717年新燃岳享保噴火火砕流Sm-KP7を採用）、火山泥流：実績がないため噴火の影響が想定される不動池及び六観音御池における平常時の火口湖の水量に既往最大降雨を考慮した最大水位を採用〕を基に想定しています。
・噴火の規模や気象条件によって危険区域の範囲は変わります。
・各噴火警戒レベルにおける登山道規制箇所および道路規制箇所は現地での表示に従ってください。
※年代は火山災害予測図検討分科会検討時に参考とした文献による。

わが家の避難所 (えびの高原(硫黄山)周辺が火口となった場合)

※避難所一覧を確認のうえ、最寄りの避難所と電話番号を記入して下さい。

避難対象地区と避難所一覧

市町村名	対象地区名	避難所名	電話番号
小林市	環野地区	西小林地区体育館	TELなし
	千歳地区		
	大出水地区		
えびの市	霧島・千草木地区	飯野駅前地区体育館	0984-33-5035
	中の原地区		
	尾八重野地区	上江地区体育館	0984-33-5799